

産学官連携による産業技術人材の育成促進に向けて 概要

(社)日本経済団体連合会

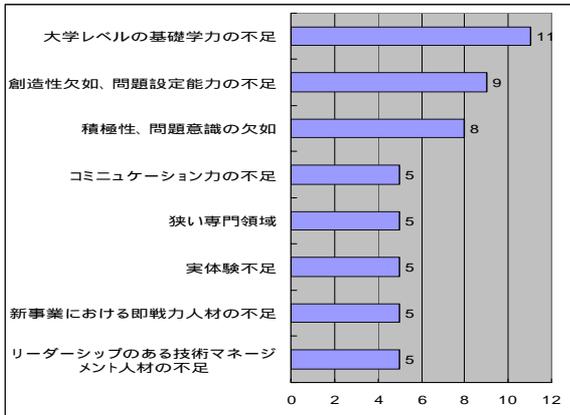
1. 産業技術人材の必要性

2001年10月経団連提言「国際競争力強化に向けた産学官連携の推進」
産学官連携の気運の盛り上がり、各種環境整備の進展
優れた科学技術を新たな産業創成につなげる産業技術人材の戦略的な育成が急務

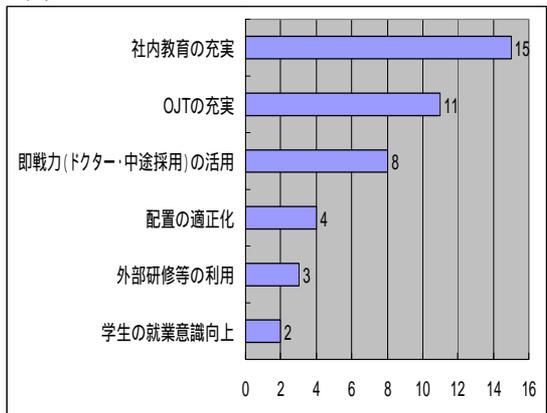
2. 産業技術人材に関する現状の問題点と企業の対応状況

日本経団連アンケート調査(27社)結果より

(1) 新卒を含む産業技術人材に関する現状の問題点



(2) 各企業による対応状況



3. 人材育成を担う大学の機能強化の基本

- (1) 大学の国際競争力強化・・・世界の知、情報、学生、研究者等が集う魅力ある創造拠点
- (2) 多様性の確保・・・競争原理に基づく大学の創意工夫、理念・特色の明確化
- (3) 産学連携・発信機能の強化・・・「知」活用の連携強化、大学の発信機能強化、留学生の増大

4. 産業技術人材の教育制度の充実

- (1) 学部教育の充実
基礎学力の量・質の充実、学際講座の充実
- (2) 実践重視の工学系大学院教育
・産業の実態に即した学科の設置
・インターンシップの活用
- (3) 社会人等を対象としたMOTプログラムの普及
・各大学による創意工夫と多様な開発
・産学官によるコンソーシアムを通じた普及
- (4) 共同研究・委託研究の更なる推進
・学生の参画の推進
・企業施設の活用
- (5) 産学官連携による人材育成の定期検討

5. 大学改革(国立大学独法化)への期待

高等教育、研究機関の強化に繋がる体制の構築へー
民間的経営手法の導入
学長の権限強化(インブリーディングの解消など)
産学の人材交流

6. 政府の役割について

- (1) 競争環境の整備(評価制度の充実)
- (2) 優れたプログラムに対する効率的支援の充実
・公募制度の充実
・学生や研究者への奨学金の充実